

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|----------------|-----|--------------|
| ○事業所名 | さくら草学園（児童発達支援） | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和6年10月11日 | | ～ 令和6年11月1日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 44名 | (回答者数) 42名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和6年10月15日 | | ～ 令和6年10月29日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 15名 | (回答者数) 15名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和6年12月3日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--|
| 1 | ・保育士、児童指導員、社会福祉士、作業療法士などの資格や経験をもった職員が療育にあたっている。 | ・専門職に日々の支援の中に入ってもらい、専門的な視点からの必要な支援を職員間で共有できるようにしている。 | ・専門職については配置のみではなく、支援の中に専門的な視点を入れながら実施していけるように、職員間での情報共有や職場内研修等を行いながら専門性を高めていきたい。 |
| 2 | 相談できる環境作り。 | ・相談の要望には迅速に対応できるようにしている。毎月の療育予定表に相談は随時受け付ける旨を記入し、周知をしている。 | ・気兼ねなく相談できる雰囲気づくり。 ・外部からの相談についても広く受け入れていけるよう、学園開放の場の機会を活用していく。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|--|
| 1 | ・お子さんのニーズが多様化している中で、それに対応するための職員が足りていないと感じられる。 | ・保護者やお子さんのニーズが多様化しており、個々に合わせた支援や対応をしていきたいという職員の思いが強くなってきている。 | ・個々の支援や対応について、職員間で共有をしていく。 ・グループを超えて、職員間で協力できる体制・環境を作っていく。 |
| 2 | ・施設建物の年数が経っているため建物や設備が古くなってきているため、汚さや古さを感じてしまう。 | ・建物の経年劣化に伴い、古さを感じられたり、汚さを感じてしまうものと思われる。 | ・市と協議をしながら、修繕が必要な個所については実施していく。 ・壁などに装飾などを工夫し、お子さんが楽しく通えるような明るい雰囲気づくりをしていく。 ・清掃等、環境整備をしていき清潔感を出していく。 |
| 3 | | | |

事業所名 さくら草学園（児童発達支援）

公表日 令和7年 2月 1日

利用児童数 44名

回収数 42名

| | チェック項目 | 評価 | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--|---|----|---------------|-----|------------------|---|---|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 35 | 6 | 1 | 0 | ・相談室は狭くて怖く感じた。 ・園庭や集会室もあり、とても広い。 ・子と親が全員揃つと少し狭く感じる。 ・少人数で職員数も多く、程よいスペースで手厚い支援がなされている。 | ・ご意見ありがとうございます。人数が多い日は空いた部屋を使用するなど、考えていきたいと思っています。また、お子さんが怖くないように装飾等の工夫をしていきます。 |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 34 | 6 | 1 | 1 | ・とても大変そうなので、増えてもいいのかと思います。 ・担任の人数が固定して増えたらもっと安心していいかなと思います。 | ・ご意見ありがとうございます。必要に応じて児童発達支援管理責任者や他グループの職員も協力して、支援を実施していきます。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 31 | 7 | 0 | 4 | | ・令和7年度に新設、移転の予定となっております。それまでは必要な修繕等を、さいたま市と相談しながらすすめていきます ・お子さんが心地よく過ごせることができるよう、消毒や清掃など細やかに実施していきます。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 35 | 7 | 0 | 0 | ・少し古い。 | |
| 適切な 支援の 提供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 38 | 4 | 0 | 0 | ・よく見てもらって、個々に合わせた対応をいただいていると感じる。 ・1人1人をよく見てくれていると思う。 ・先生方は支援にプレがなく安心して預けることができます。 ・言語聴覚士が常駐して指導して下さるとありがたいです。 ・とてもよく見てくださっていると思います。 | ・ご意見ありがとうございます。引き続き研修などを通して、職員のスキルアップに努め、お子さんの支援につなげていきます。 ・作業療法士は年度途中で常勤として配置されています。その他の専門職につきましては保護者向けの勉強会や個別支援にて来園をいただいています。相談等ありましたら担任までお伝えください。 |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 39 | 2 | 0 | 1 | | |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 42 | 0 | 0 | 0 | | ・個別支援計画の内容などにつきまして、わかりにくい点などがありましたら、児童発達支援管理責任者や担任にお伝えください。説明をさせていただきます。 |
| | 8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 40 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 39 | 1 | 1 | 1 | ・集団なのでなかなか個々に沿った支援はできてないと感じる。 ・短い時間の中でも効率よくいろいろな支援がなされていると思う。 | ・ご意見ありがとうございます。集団生活の中にはなりますが、個々のニーズや課題に視点を当てた支援を提供できるようにしていきたいと思っています。 |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 40 | 2 | 0 | 0 | ・家庭や保育園でもなかなかできない体験ができていてとても良い。成長につながっていると思う。 ・たくさんプログラムがあって、子どもが楽しそうです。 | ・ご意見ありがとうございます。お子さんの積み重ねを大切にしながら、楽しめるように新しいプログラムも提供していきたいと思っています。 |
| | 11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 28 | 0 | 5 | 9 | ・集団交流保育等があります。 | ・ご意見ありがとうございます。今年度から単独通園グループと保育園との集団交流を再開しました。 |
| 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 42 | 0 | 0 | 0 | ・毎回、とても丁寧な説明がある。 | ・ご意見ありがとうございます。ご不明な点等がありましたらご質問ください。 | |
| 13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 42 | 0 | 0 | 0 | ・毎回、とても丁寧な説明がある。 | | |

| | | | | | | | | |
|----------|----|--|----|---|---|----|---|--|
| 保護者への説明等 | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 36 | 1 | 1 | 4 | ・定期的に勉強会が開催されている。 ・言語、心理等の勉強会があります。 | |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達について共通理解ができていると思いますか。 | 41 | 1 | 0 | 0 | | ・引き続き、日々の連絡帳や親子通園日の際などに、職員と保護者としてお子さんの状況について共有をしていきたいと思ひます。 |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 40 | 2 | 0 | 0 | ・定期的に個人面談をしている。 ・こちらの悩みや思いをよく聞いてくれ、色々な助言に助けられている。 ・親子通園日で行くときにいろいろなアドバイスをくれます。 | ・ご意見ありがとうございます。今後も保護者の皆様が相談しやすい環境にしていきたいと思ひます。面談や電話で対応させていただきますのでお声かけください。 |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思ひますか。 | 41 | 0 | 0 | 1 | ・担任以外からも声をかけてもらい、うれしく思ひます。 ・保護者の気持ちに寄り添ってくれていると感じる。 | ・ご意見ありがとうございます。皆様が楽しく、安心して利用していただける環境づくりに努めていきます。 |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 33 | 2 | 5 | 2 | ・兄弟児というのを最近考えており不安があります。兄弟に対してどのように接したらよいのかなどの情報や共有できる場所があると嬉しい。 ・自由時間や懇親会などで交流ができている。 ・親同士の交流がたくさんあります。 ・父子通園日もあって嬉しいです。 ・親睦会や懇談会もあり、運動会では兄弟も参加可能です。 | ・ご意見ありがとうございます。利用していただいているグループによって違いがありますが、保護者会や兄弟と一緒に参加できる行事などもあります。今後も保護者の皆様がコミュニケーションを取りやすい環境づくりに努めていきます。 |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 37 | 1 | 1 | 3 | ・個人面談以外でも相談があれば対応していただける旨を周知している。 ・相談や申し入れ等、迅速、適切に対応し、一緒に考えてくれます。 | ・ご意見ありがとうございます。相談等ありましたら、遠慮なくお声かけいただけたらと思ひます。 |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思ひますか。 | 39 | 0 | 1 | 3 | ・STの相談が思っていたものと違った。内容について詳しく書いてほしい。 | ・ご意見ありがとうございます。ご説明が不足しており、大変申し訳ありませんでした。内容がわかりやすいよう、お知らせの内容等を工夫させていただきます。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 25 | 1 | 2 | 14 | ・Xでいろいろなことが見れて良かったです。 ・きちんと発信されています。 | ・ご意見ありがとうございます。引き続き、活動内容や行事など皆様にお伝えできるように発信していきたいと思ひます。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思ひますか。 | 40 | 2 | 0 | 0 | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 37 | 3 | 0 | 2 | | ・防犯マニュアルにつきましては、廊下に掲示させていただいています。 ・避難訓練はグループにより参加する月が異なりますが、毎月実施しています。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 40 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思ひますか。 | 40 | 2 | 0 | 0 | ・入口ドアは必ず開けてくれていて安全。信頼できます。 | ・ご意見ありがとうございます。大きな道路が施設の目の前にあるため、引き続き、安全の確保に努めていきます。 |
| | 26 | 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思ひますか。 | 35 | 1 | 0 | 6 | | |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 41 | 1 | 0 | 0 | ・毎日楽しく通っています。 ・母子ともに安心感があります。 | ・ご意見をありがとうございます。いつも学園の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。引き続き、お子さんたちが楽しく安全な環境で過ごせるよう、努めていきたいと思ひます。 |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 38 | 4 | 0 | 0 | ・先生やお友だちが大好きみたいです。 ・いつも楽しみにしています。 | 今後もよろしくお願ひいたします。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 41 | 1 | 0 | 0 | ・集団に対しての支援には満足。個人に対しての支援は個別の事業所がやはり必要と感じる。 | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | さくら草学園（児童発達支援） | | 公表日 | | 令和7年 2月 1日 | |
|----------|----|--|----|-----|--|--|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 15 | 1 | クラス間でカリキュラムの調整をしながら、空き教室などを有効に使用しながら支援にあたっている。 | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 10 | 6 | 設置基準以上の職員配置になっている。 | 配置はされているが、お子さんの状況により足りないと感じる時もあるため、職員間で協力しながら支援を行っています。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 11 | 5 | | 老朽化が進み、バリアフリー化がされていない状況となります。今後移転が計画されています。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 7 | 9 | 施設は古いですが、職員で環境整備の配慮をすることができている。 | 毎日の清掃を実施していますが、細かいところまで行き届いていないところもあり、環境整備に努めています。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 11 | 5 | お子さんの状況により、個々に合わせた対応をすることができている。 | お子さん個々に合わせた対応を心掛けていますが、個別対応できる部屋が環境的にない状況となっています。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 15 | 1 | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 16 | | 利用者アンケートの結果を職員間で共有することができている。 | 今後も、公表を行い改善に活用していきます。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 16 | | 職員による施設自己評価を実施している。 | 今後も、改善に活用していきます。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 15 | 1 | 定期的に実施し、評価結果について公表を行っている。 | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 16 | | 内部研修を年間でテーマを決めて、計画的に実施することができている。 | 今後も園内外において充実した研修を設定していきます。 | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 16 | | | 5領域プログラムの公表については、今年度中に実施をしていきます。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 16 | | | 今後も継続していきます。 | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 16 | | | 今後も継続していきます。 | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 16 | | お子さんの支援や対応について、打ち合わせなどを通して職員間で共有することができている。 | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 16 | | | | |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 16 | | | 児童発達支援ガイドラインに関する共通理解を深めていくながら、個別支援計画により反映していけるよう努めていきます。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 16 | | リーダー職員を中心に、活動する部屋が重ならないように調整をし、お子さん活動を考えることができている。 | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 15 | 1 | お子さんの状況や季節やねらいに合わせて、プログラムの提供ができている。 | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|----|---|---|---|
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 15 | 1 | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 16 | | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 15 | 1 | 職員それぞれがお子さんのことをよく理解することができている。また、反省点や次への取り組み方法など、共有をすることができている。 | 打ち合わせは行えてはいるが、バスの添乗等で時間を十分に取ることが難しい状況となっています。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 16 | | 日々の支援に関してだけでなく、面談や会議など必要な記録をとることができている。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 16 | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 16 | | | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 15 | 1 | | 保健師との情報共有については、より連携を図っていく必要があると感じています。 |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 16 | | | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 16 | | | |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | 15 | 1 | 区の地域協議会に参加し、その中で他の事業所との関係づくりや連携を広げている。 | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。 | 16 | | STや心理、OT等による助言を園内研修を通して、受けることができている。 | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | 16 | | | 園長が参加をしているが、支援員などの職員も参加する機会を設けていけるようにしていきます。 |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 16 | | | |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 16 | | 近隣の4つの保育園と集団や個別での交流を行っている。 | |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 16 | | 希望があれば面談を行ったり、親子通園日や連絡帳などで伝えるようにしている。 | |
| | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 16 | | 保護者向けにSTや心理の専門職による勉強会を実施している。 | ペアトレについてのニーズが高いため、職員のスキルアップを図れるような機会を設けていけるように努めます。 |
| | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 16 | | | |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 16 | | | |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 16 | | | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 16 | | 親子通園日や電話等で聞き取りを行ったり、必要に応じて面談や訪問を行っている。 | |

| | | | | | | |
|----------|----|--|----|---|--|--|
| 保護者への説明等 | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 15 | 1 | 保護者懇談会を実施し、保護者同士の交流の場を設けています。また、きょうだいについては運動会に参加してもらい交流をできる機会を設けている。 | |
| | 40 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 16 | | | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 16 | | | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 16 | | | |
| | 43 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 16 | | 職員全員がお子さんのことを理解し、誰が対応してもほぼ同じように対応することができている。 | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 13 | 3 | 毎月1回、学園開放の機会を設け、地域の方に施設を知ってもらうことができる機会を作っている。 | 地域に対して、事業所の活動や行事を見てもらう機会が少ないため機会を設けていけるよう検討していきます。 |
| | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 15 | 1 | | |
| 非常時等の対応 | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 16 | | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、備蓄品の確保、避難訓練を実施している。 | 備蓄品の消費期限の管理、入れ替えを計画的に実施できるように努めます。 |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 16 | | | |
| | 48 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 16 | | 必要なお子さんについては医師からの指示書をいただくとともに、毎月保護者、関係職員で献立内容について確認を行っている。 | |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 16 | | 毎月の遊具点検の実施。不審者対策についての園内研修を実施している。 | |
| | 50 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 15 | 1 | | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 16 | | ヒヤリハットを職員間で共有するだけでなく、定期的に振り返る機会を設けている。 | |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 16 | | 定期的に虐待防止チェックを実施するとともに、虐待についての園内研修を実施している。 | |
| | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 16 | | 身体拘束の適正化に対する指針を作成し、職員間で共有を行っている。必要に応じて身体拘束適正化委員会を実施している。 | |